

2024年4月8日

福島県福島市郷野目字東1番地
日東紡績株式会社
代表執行役社長 多田 弘行

吸収分割に係る事前開示書面

(会社法第794条第1項および同法施行規則第192条に基づく開示事項)

当社と当社の100%子会社であるニッポーボーメディカル株式会社(以下、「NMD」という。)は、2024年10月1日を効力発生日として、当社を吸収分割承継会社、NMDを吸収分割会社とする吸収分割(以下、「本吸収分割」という。)を行うことを決定いたしました。

本吸収分割に関し、会社法第794条第1項および同法施行規則(以下、「規則」という。)第192条に基づく開示事項は下記のとおりです。

記

1. 吸収分割契約の内容(会社法第794条第1項)
別紙1のとおりです。
2. 吸収分割対価の相当性に関する事項(規則第192条第1号)
本吸収分割に際して、当社はNMDに対して対価の交付を行いません。本吸収分割は完全親子会社間において行われるため、係る内容は相当であると判断いたします。
3. 吸収分割会社(NMD)に関する事項(規則第192条第4号)
 - (1) 最終事業年度に係る計算書類等の内容
別紙2のとおりです。
 - (2) 最終事業年度の末日後に重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象が生じたときは、その内容
該当事項はありません。
4. 吸収分割承継会社(当社)に関する事項(規則第192条第6号)
最終事業年度の末日後に重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象が生じたときは、その内容
該当事項はありません。

5. 吸収分割が効力を生ずる日以後における吸収分割承継会社（当社）の債務の履行の見込みに関する事項（規則第 192 条第 7 号）

本吸収分割の効力発生日後の当社の資産の額は、負債の額を十分に上回ることが見込まれます。また、本吸収分割の効力発生日以後の当社の収益状況およびキャッシュフローの状況について、当社の債務の履行に支障を及ぼす事態の発生は、現在のところ予測されていません。

したがって、本吸収分割の効力発生日以後における当社の債務につき、履行の見込みがあるものと判断しています。

以上

(別紙1)



吸収分割契約書

ニッポーメディカル株式会社（以下「甲」という。）と日東紡績株式会社（以下「乙」という。）とは、次のとおり吸収分割契約（以下「本契約」という。）を締結する。

(目的)

第1条 甲は、その経営する事業のうち、スペシャルケミカルス事業（以下「本件事業」という。）に係る権利義務の全部を乙に承継させ、乙はこれを承継する（以下「本分割」という。）本分割における当事会社である甲及び乙の商号及び住所は、以下のとおりである。

甲（分割会社）：ニッポーメディカル株式会社
東京都千代田区麹町2丁目4番地1

乙（承継会社）：日東紡績株式会社
福島県福島市郷野目字東1番地

(権利義務の承継)

第2条 乙は本分割に際し、甲から次の各号に掲げる権利義務を承継する。

(1) 本件事業に関連する資産及び債務等

本分割によって、乙が甲から承継する資産及び債務は、効力発生日における本件事業に関する資産、債務、知的財産権・ノウハウ、本件事業に関する契約上の地位、及びこれらに付随する一切の権利義務とする。

甲は、2024年3月31日現在の貸借対照表その他同日現在の計算を基礎とし、これに効力発生日前日までの増減を加除した一切の資産、債務及び権利義務を効力発生日において乙に承継させるものとする。

(2) 承継する雇用契約に関する権利義務

スペシャルケミカルス事業部門に所属する全従業員

2) 甲は、乙が承継する一切の債務につき、重畳的債務引受けする。

(交付金等)

第3条 乙は甲の発行済株式を100%所有しているので、乙は、本分割に際し、甲に対して前条に掲げる権利義務に代わる乙の株式の割当て、その他金銭等の対価の交付を行わない。

(資本金及び準備金等)

第4条 乙が本分割により増加する資本金及び準備金の額は、次のとおりとする。

- 資本金は、増加しないものとする。
- 資本準備金は、増加しないものとする。
- 利益準備金は、増加しないものとする。

(効力発生日)

第5条 本分割の効力発生日は、2024年10月1日とする。

(競業避止義務を負わない旨の確認)

第6条 甲は、本分割にかかわらず、本件事業及びこれに類似する事業にかかわる競業避止義務を負わないものとする。

(分割条件の変更等)

第7条 本契約締結の日より本分割実行に至る間において天災地変その他の事由より甲または乙の資産状態または経営状態に重大な変更を生じたとき、または重大な契約不適合が発見された場合には、甲乙協議して分割契約を取消し、または分割条件を変更することができるものとする。

(分割契約の効力)

第8条 本契約は、甲及び乙において取締役会の決議を得、かつ主務官庁の許認可を得たときにその効力を生ずる。

2) 甲は、会社法第784条第1項の定めに従い、本契約について株主総会決議による承認を得ることなく、本分割を行う。

3) 乙は、会社法第796条第2項の定めに従い、本契約について株主総会決議による承認を得ることなく、本分割を行う。

(協議)

第9条 甲及び乙は、本契約に定めのない事項や本契約の条項に疑義が生じた場合には、そのつど双方協議のうえ誠意をもってこれを解決するものとする。

以上のとおり本契約の成立を証するために、本書1通を作成し、甲乙記名押印の上、乙が原本、甲がその写しを各1通保有する。

2024年4月1日

東京都千代田区麹町2丁目4番地1

(甲) ニッポーメディカル株式会社
代表取締役社長 福島 雅夫



福島県福島市郷野目字東1番地

(乙) 日東紡績株式会社
代表執行役社長 多田 弘行



(別紙2)

第37期 報告書

2023年4月 1日から

2024年3月31日まで

事業報告

計算書類

附属明細書

監査役監査報告

ニッポーボーメディカル株式会社

事業報告

2023年 4月 1日から
2024年 3月31日まで

ニッポーメディカル株式会社
代表取締役 福島 雅夫

1. 企業集団の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当事業年度における世界経済は、欧米でのインフレ長期化や中国での景気減速、地政学的リスクの高まりなどにより、不安定な状態が継続しました。わが国経済は、社会経済活動正常化などにより緩やかに回復した一方、原材料価格の高騰による物価上昇などにより、先行き不透明な状況は継続しました。

このような経営環境の下、当社は、メディカル分野では免疫系体外診断薬を中心に国内、海外向けの販売に注力し、スペシャリティケミカル分野では金属分野等の高付加価値品の拡販に努めるとともに、当事業年度が最終年となる中期経営計画に基づき、体外診断薬分野の販路拡大や新規商品の開発力強化など、成長戦略の実践と経営基盤の強化のための施策などに取り組みました。

その結果、当期売上高は、円安の影響や国内事業の販売も順調であったこともあり対前年比829百万円増収の11,860百万円（対前期比率+7.5%）となりました。営業利益は、売上増加による売上総利益増加により、対前年比147百万円増益の2,690百万円（対前期比率+5.8%）、当期純利益は、対前年比81百万円増益の2,066百万円（対前期比率+4.1%）となりました。

来期につきましては、不透明な環境は継続することが予想されるものの、国内外での拡販活動と生産体制の整備、更にはグローバル市場への展開、独自性の高い製品開発を進め、業績の拡大に努めてまいります。

(2) 資金調達の状況

今期借入金はありません。

親会社である日東紡績株式会社と借入枠の設定契約を締結しており、必要に応じて資金の調達を行う契約となっています。

(3) 設備投資等の状況

当事業年度においては、メディカル事業における生産性向上及び設備の更新を中心として2億95百万円の設備投資を行っております。

(4) 財産および損益の状況の推移

(単位：百万円)

区 分	第 33 期	第 34 期	第 35 期	第 36 期	第 37 期
売 上 高	8,608	8,869	10,212	11,031	11,860
当 期 純 利 益	1,306	1,291	1,770	1,985	2,066
一株当たり当期純利益(円)	217,727	215,189	215,153	330,863	344,406
総 資 産	6,780	7,320	8,846	9,764	11,248
純 資 産	4,741	5,379	6,504	7,604	8,678

(5) 重要な親会社および子会社の状況

親会社との関係

当社の親会社は日東紡績株式会社で同社は当社の株式を 100%（6 千株）保有しております。

子会社の状況

当社は株式会社フロンティア研究所の株式を 100%（660 株）保有し子会社としております。

(6) 主要な事業内容

体外診断用医薬品及び関連商品の製造卸売販売並びに水溶性高分子ポリマー等化学品の製造販売

(7) 主要な営業所および工場等

区分	所在地
本社	東京都
大阪支店	大阪府
富久山工場	福島県

(8) 使用人の状況

使用人の数	前期末比増減
224 名	8 名増

(注)使用人の数には、他社から当社への出向者を含んでおります。

貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	9,529,761,044	流動負債	2,376,385,907
現金及び預金	192,897,565	買掛金	978,262,425
受取手形	258,101,277	リース債務	81,735,276
売掛金	2,820,221,298	未払金	93,977,760
商品及び製品	509,464,907	未払費用	527,334,982
仕掛品	1,083,515,106	未払法人税等	518,413,117
原材料及び貯蔵品	2,203,292,131	前受金	9,631,090
前払費用	33,402,667	賞与引当金	121,735,000
未収入金	49,111,420	その他	45,296,257
預け金	2,305,246,473	固定負債	194,304,999
リース投資資産	74,508,200	リース債務	192,304,881
固定資産	1,719,149,863	預り保証金	2,000,118
有形固定資産	586,995,800	負債合計	2,570,690,906
建物附属設備	1,099,979		
構築物	533,917		
機械装置	453,940,300		
車両運搬具	1,864,590		
工具器具備品	117,481,014		
建設仮勘定	12,076,000		
無形固定資産	349,497,366		
ソフトウェア	144,520,697		
電話加入権	72,800		
ソフトウェア仮勘定	204,903,869		
投資その他の資産	782,656,697		
関係会社株式	397,718,134		
長期前払費用	2,695,298		
リース投資資産	174,923,794		
敷金及び保証金	97,170,801		
繰延税金資産	110,148,670		
資産合計	11,248,910,907		
		純資産の部	
		株主資本	8,678,220,001
		資本金	300,000,000
		利益剰余金	8,378,220,001
		利益準備金	75,000,000
		その他利益剰余金	8,303,220,001
		繰越利益剰余金	8,303,220,001
		純資産合計	8,678,220,001
		負債・純資産合計	11,248,910,907

損益計算書

2023年 4月 1日から
2024年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
売上高	11,860,851,875
売上原価	6,319,323,260
売上総利益	5,541,528,615
販売費及び一般管理費	2,850,717,254
営業利益	2,690,811,361
営業外収益	103,549,383
受取利息及び配当金	14,693,949
為替差益	77,759,795
その他	11,095,639
営業外費用	891,200
支払利息	40
寄付金	400,000
その他	491,160
経常利益	2,793,469,544
特別損失	1,347,169
固定資産処分損	1,347,169
税引前当期純利益	2,792,122,375
法人税、住民税及び事業税	731,872,787
法人税等調整額	▲ 6,188,868
当期純利益	2,066,438,456

株主資本等変動計算書

2023年 4月 1日から
2024年 3月 31日まで

(単位：円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金		株主資本 合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計		その他 利益剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	300,000,000	-	-	-	75,000,000	7,229,421,545	7,304,421,545	7,604,421,545
当期変動額								
剰余金の配当	-	-	-	-	-	▲ 992,640,000	▲ 992,640,000	▲ 992,640,000
当期純利益	-	-	-	-	-	2,066,438,456	2,066,438,456	2,066,438,456
その他有価証券 評価差額金の増減	-	-	-	-	-	-	-	-
株主資本以外の 項目の当期変動額	-	-	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	-	-	1,073,798,456	1,073,798,456	1,073,798,456
当期末残高	300,000,000	-	-	-	75,000,000	8,303,220,001	8,378,220,001	8,678,220,001

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	0	0	7,604,421,545
当期変動額			
剰余金の配当	-	-	▲ 992,640,000
当期純利益	-	-	2,066,438,456
その他有価証券 評価差額金の増減	0	0	0
株主資本以外の 項目の当期変動額	0	0	0
当期変動額合計	0	0	1,073,798,456
当期末残高	0	0	8,678,220,001

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

① 関係会社株式

移動平均法に基づく原価法

(2) 棚卸資産の評価基準および評価方法

月別移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法

(2) 無形固定資産

定額法

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員の賞与の支出に備えるため、支給見込額のうち当期負担額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

商品又は製品の販売に係る収益は、主に卸売又は製造等による販売であり、顧客との販売契約に基づいて商品又は製品を引き渡す履行義務を負っております。当該履行義務は、商品又は製品を引き渡す一時点において、顧客が当該商品又は製品に対する支配を獲得して充足されると判断し、引渡時点で収益を認識しております。ただし、当該国内の販売については、出荷時点で収益を認識しております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の処理方法

税抜方式によっております。

(収益認識に関する注記)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、ライフサイエンス事業（体外診断用医薬品、スペシヤリティケミカルス製品の製造及び販売）を営んでおります。

また、売上高は、11,860 百万円であります。

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は、個別注記表の「(重要な会計方針に係る事項) 4. 収益及び費用の計上基準」に記載のとおりです。

3. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から翌事業年度以降に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

① 契約資産及び契約負債の残高等

当社の契約資産及び契約負債については、残高に重要性が乏しく、重大な変動も発生していないため、記載を省略しております。また、過去の期間に充足（又は部分的に充足）した履行義務から、当事業年度に認識した収益に重要性はありません。

② 残存履行義務に配分した取引価格

当社では、残存履行義務に配分した取引価格については、当初に予想される契約期間が1年を超える重要な契約がないため、記載を省略しております。また、顧客との契約から生じる対価の中に、取引価格に含まれていない重要な金額はありません。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 当事業年度の末日における発行済株式の種類と数 普通株式 6,000 株

2. 当事業年度の末日における自己株式の数 0 株

3. 剰余金の配当に関する事項

①配当金支払額

2023年6月23日の定時株主総会による配当に関する事項

配当金の総額 992,640,000円(1株当たり165,440円)

株式の種類 普通株式

配当の原資 利益剰余金

基準日 2023年3月31日

効力発生日 2023年6月26日

② 基準日が当該事業年度に属する配当のうち、効力発生日が翌期になるもの

2024年6月14日の定時株主総会において次の通り決議を予定しています。

配当金の総額 1,033,260,000円(1株当たり172,210円)

株式の種類 普通株式

配当の原資 利益剰余金

基準日 2024年3月31日

効力発生日 2024年6月17日

(重要な後発事象に関する注記)

当社は、2024年3月28日開催の取締役会において、当社の機能性高分子等の製造・販売を行うスペシャリティケミカル事業を会社分割により当社100%親会社である日東紡績株式会社に承継させることを決議し、2024年4月1日に吸収分割契約を締結致しました。本会社分割が当社業績に与える影響は現時点で未確定であります。

附属明細書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

ニッポーボーメディカル株式会社
代表取締役 福島 雅夫

1. 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費の明細

単位：円

区分	資産の種類	期首帳簿 価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿 価額	減価償却累計 額	期末取得 原価
有形固定資産	建物附属設備	1,152,812	196,000	-	248,833	1,099,979	564,021	1,664,000
	構築物	608,417	-	-	74,500	533,917	211,083	745,000
	機械及び装置	449,051,851	95,819,007	7	90,930,551	453,940,300	470,402,697	924,342,997
	車両運搬具	1,357,508	1,550,000	1	1,042,917	1,864,590	5,859,086	7,723,676
	工具器具備品	109,239,924	52,207,646	223,468	43,743,088	117,481,014	283,687,211	401,168,225
	リース資産	-	-	-	-	-	3,500,000	3,500,000
	建設仮勘定	780,000	12,076,000	780,000	-	12,076,000	-	12,076,000
計	562,190,512	161,848,653	1,003,476	136,039,889	586,995,800	764,224,098	1,351,219,898	
無形固定資産	ソフトウェア	208,358,803	5,532,500	261,666	69,108,940	144,520,697	208,307,004	352,827,701
	電話加入権	72,800	-	-	-	72,800	-	72,800
	ソフトウェア仮勘定	76,403,869	128,500,000	-	-	204,903,869	-	204,903,869
	計	284,835,472	134,032,500	261,666	69,108,940	349,497,366	208,307,004	557,804,370

2. 引当金の明細

単位：円

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
賞与引当金	116,270,000	417,467,000	412,002,000	121,735,000

3. 販売費及び一般管理費の明細

単位：円

科目	金額	摘要
給料	745,061,467	
賞与	73,169,251	
賞与引当繰入額	63,792,136	
法定福利費	131,046,998	
厚生費	35,984,505	
退職給付費用	66,276,550	
広告宣伝費	85,454,098	
販売運賃	176,499,871	
保管料	1,498,280	
販売雑費	40,805,093	
旅費交通費	137,939,697	
通信費	32,965,019	
交際費	4,341,971	
研究費	728,782,847	
会費	4,944,708	
賃借料	183,125,978	
修繕費	5,641,788	
消耗品費	40,510,798	
保険料	5,575,371	
租税公課	60,167,280	
充員費	370,000	
業務委託費	188,673,588	
雑費	31,685,385	
減価償却費	6,404,575	
合計	2,850,717,254	

監査役監査報告

第 37 期事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他取締役の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監査役間の協議により、監査方針、監査基準及び監査計画を定めた上で、各監査役が分担して調査を行い、その結果を監査役間で協議して、監査を実施しました。監査にあたっては、監査室及び管理部の職員を補助として使用して調査等を行いました。

具体的には、取締役会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当社の取締役等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当社の状況を正しく表示しています。
- (2) 取締役の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当社の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての取締役会の決議の内容は相当であり、当該体制の運用状況につき指摘すべき事項はありません。
- (4) 当社の財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針の内容及び当社と当社の親会社等との間の取引にかかる事項等についても、指摘すべき事項はありません。
- (5) 計算書類とその附属明細書は当社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

2024 年 5 月 15 日

ニッポーボーメディカル株式会社

監査役 谷川 治仁



監査役 井熊 光彦

